

予算のあらまし

令和8年度の当初予算は、物価や人件費の高騰が依然として続く厳しい状況の中、市民サービスの向上を図る施策を講じるとともに、「第3次菊池市総合計画」に基づく将来像の実現に向け、着実な取り組みとなるよう編成を行いました。また、財政健全化に配慮しながら、最小の経費で最大の効果を生み出すよう、財源や人材などの資源を有効活用し、各種事業に取り組みます。

☎ 財政課 ☎ 0968(25)7202

5つの主要施策

- 1 産業と経済
 - 【農業振興】 独自の新規農業就業奨励金の交付をはじめ、国の支援制度などを活用した新規就農者の確保と優れた農業者の育成を進めるとともに、先端技術を活用したスマート農業を推進し、生産体制の充実を図ります。また「オーガニックビレッジ」や「環境王国菊池農業生産基準」の取り組みにより、有機農業をはじめとする環境にやさしい農業を推進します。
 - 【商工振興】 新たな経済循環の創出・活性化を図るためには人材育成が重要であり、引き続き「きくち起業塾」や「きくち未来創造塾」を通して人材を育成します。
 - 【観光振興】 菊池温泉街については、宿泊施設の高付加価値化改修

に対する補助や旅館経営の基盤強化の他、将来の景観整備に備え景観ガイドライン策定を進めます。また、ご当地グルメの面的拡充により食の魅力を高め、温泉街全体のリブランディングを推進します。特に観光地域づくりの推進母体となるDMOが本格的に動き出しますので、運営を支援し、官民が連携する持続可能な観光地域づくりの体制整備を進めます。

- 2 教育と文化
 - 【学校施設】 熱中症対策と指定避難所の機能強化のため、中学校体育館などに空調設備設置を進めます。また「菊池市学校施設等長寿命化計画」に沿って、七城小学校と七城中学校の整備に向けた基本構想基本計画の策定に着手するとともに、旭志中学校の耐力度調査を実施します。
 - 【学校給食】 安全・安心な給食を提供するとともに、地元産の農林畜産物を活用した食育を推進します。また、小学校給食については、国が行う給食費の負担軽減策に上乗せして市が独自に支援を行い、完全無償化を図ります。
 - 【公民館事業】 公民館主催講座の充実により、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを進めます。また「キクロスカレッジ」や「生涯学習人財認証制度」の拡充および認証・登録した生涯学習マスターの活動を調整する「まちづくり支援ネット」の充実を図り、「学びと活動の循環」を創出します。
 - 3 子育てと健康福祉
 - 【子育て支援】 2カ所目の病児保育施設を整備するとともに、障がい児・医療的ケア児を含む、保育を必要とする児童の受け入れ体制の

充実を図ります。併せて、利用希望者が増加している放課後児童クラブにおいても、待機児童が発生しないよう受け入れ体制を整えます。

- 【健康づくり】 「第3次健康増進計画・食育推進計画」に基づき、市民の健康を守るための施策を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目ない支援や健康を維持・増進できる環境整備を進め、健康寿命の延伸を図ります。
- 【高齢者福祉の充実】 住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日常生活支援サービスなどの充実や、通いの場・サロンを活用した健康教育などによる介護予防を推進します。また、認知症の相談体制整備と早期発見・介入ができるよう、に総合的支援を継続して行います。
- 4 自然環境と暮らしの基盤
 - 【地下水保全】 「地下水中の硝酸性窒素対策に関する本市実施計画」に基づき、水質・水量の両面から安全・安心な地下水の保全に努めます。中でも、七城地区における水質保全対策については、熊本大学との共同研究事業に継続して取り組み、硝酸性窒素などの分析結果に基づいて関係機関と連携した水質改善対策を進めます。
 - 【防災・消防体制の充実】 熊本地震から10年を迎え、さらなる防災力の充実強化を図るため、災害対応備蓄品の整備や民間を活用した協力体制の構築を引き続き進めます。また、地区防災説明会・出前講

座・総合防災訓練などによる自助・共助・公助の連携および防災士の育成・活用など、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めます。

予算の規模

令和8年度の一般会計予算は、前年度比4.2%増の316億5千万円です。

- 歳入 自主財源である市税は、市民税の増収などにより、前年度から4.9%の増加を見込みました。国・県などの特定財源および地方交付税などを加えても不足する歳出に見合う財源については、将来の

健全な財政運営を検証し、財政調整基金を15億4400万円取り崩すことになりました。

- 歳出 補助費等は、学校給食食材費補助金や企業誘致促進補助金などにより前年度から2%増の52億3257万円、物件費は一般廃棄物運搬処分委託やふるさと納税推進委託により4.9%増の46億1341万円、普通建設事業費は玉祥寺橋の架け替え工事や泗水図書館改修工事、文化財収蔵施設改修工事などにより前年度から21%増の31億9381万円、公債費は前年度から3.8%減の32億7268万円となりました。



詳しくはホームページに掲載しています。

財政用語

- 歳入
 - 自主財源 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの
 - 依存財源 国や県の意思決定に基づき収入されるもの
 - 市税 市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
 - 地方交付税 地域ごとの状況の違いを調整するため国税の一部から交付されるお金
 - 国庫支出金・県支出金 特定事業に対し国・県から使いみちを指定して交付されるお金
 - 繰入金 基金から一般会計に組み入れるお金
 - 市債 長期間利用される市の施設をつくるためなどに借り入れるお金

- 歳出
 - 義務的経費 人件費、扶助費、公債費を合わせた、毎年必ず支出が必要となる費用
 - 人件費 職員の給料や退職金などの費用
 - 扶助費 保育所の運営、生活保護、子どものための手当て、医療費の援助などの費用
 - 公債費 過去の借入金に要する返済のための費用
 - 普通建設事業費 道路工事や施設などを建設する事業に要する費用
 - 物件費 消耗品や備品などに要する経費、委託料、光熱水費など
 - 補助費等 公益的な事業などに対する補助金や負担金など
 - 繰出金 一般会計から特別会計などに支出する経費

